

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>仙台市子育てふれあいプラザ泉中央</p> <p>※(一社)マザー・ウイングが運営</p>	<p>利用者懇談会において、「子どもの名前シール(お子さんのお名前と年齢(月齢)をシールに書いたもの)があると他の親子に声をかけやすい、話ずきかけになる」という意見があったため、希望する利用者が名前シールを貼って遊べるよう、使い方を表記したうえで、ひろばに設置した。</p>	<p>ひろばで遊んでいるお子さんに名前シールを貼っていただくことで、スタッフがお子さんのお名前を呼びやすくなり、利用者との関係性を深めるきっかけになっているほか、利用者同士の交流のきっかけにもなっている。名前シールの貼付は必須ではないが、利用の度に貼ってくださる方もおり、利用者からも名前シールの運用を評価いただいている。</p> 	<p>令和4年2月</p>
<p>仙台市子育てふれあいプラザ泉中央</p> <p>※(一社)マザー・ウイングが運営</p>	<p>親子で遊ぶパズルを貸し出す際、数種類のパズル(実物)を見たとえで希望するものを選ぶという運用をしていたが、「パズルの一覧がひろばにあると借りやすい」という声があったことから、一覧表を作成し掲示した。</p>	<p>パズルの写真とピース数を分かりやすく掲示した。幼稚園児等の年齢の高いお子さんの場合には、お子さん自身が「〇〇のパズルを貸してください」と受付に借りに来ることが増え、これまでよりも借りやすくなったと好評を得ている。</p> 	<p>令和4年3月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>仙台市子育てふれあいプラザ長町南</p> <p>※(特非)ワーカーズコープが運営</p>	<p>ひろば内のベンチの上で遊んでいた男児が転倒してしまい、顎と口内を負傷した事故があった。母親は男児の近くにいたが見ていなかった。今後の事故を防止するため、注意喚起の掲示物を作成し、ベンチ上部の目立つ場所に掲示した。</p> 	<p>ベンチの上で遊ぶお子さんが格段に減った。また、ベンチで遊んでいるお子さんを見かけたときは、保護者に掲示物を示しながら、「以前、怪我をされたお子さんがいたので気を付けてくださいね。」と、声かけをしやすいようになった。</p>  	<p>令和3年7月</p>
<p>仙台市子育てふれあいプラザ長町南</p> <p>※(特非)ワーカーズコープが運営</p>	<p>ひろばが満員で新たな予約を受け付けられない日が続いたことから、職員の中で、時間内に退館した利用者がいた場合には、入れ替えて新たな利用者を受け入れられるのではないかと話になった。予約なしで来館した方を1人でも多く受け入れられるようにするため、「空気が出たら入れることあります」という掲示物を入口の自動扉に貼った。</p>	<p>掲示物を見て、「予約していないのですが入れますか？」と訊ねてくる利用者が増え、より多くの方に利用いただけるようになった。</p> 	<p>令和3年8月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>仙台市子育てふれあいプラザ長町南</p> <p>※(特非)ワーカーズコープが運営</p>	<p>利用者から「子どもが舐めたおもちゃを衛生箱に入れない親が多い。特に父親は子どもが遊んでいるのを見ていない」という意見があった。初めての来館で館内の説明をするときに衛生箱の紹介をしているが、対応していただけない場合があったことから、注意喚起の掲示物を館内の複数箇所に貼った。</p>	<p>掲示する前よりも衛生箱に入っているおもちゃが増えた。</p>	<p>令和3年11月</p>



接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>仙台市子育てふれあいプラザ長町南</p> <p>※(特非)ワーカーズコープが運営</p>	<p>館内に設置してある「あなたのつぶやき聞かせてBOX」に、「授乳室に使用中や共同でお使いください、声をおかけください、などの札が欲しい」という意見が入っていたことから、表面に「ご利用できます」、裏面に「使用中です。声をおかけください」と記載したひっくり返して使用する表示を作成し、授乳室前に掲示した。</p>	<p>館内の説明をするときに表示の話をする、「わかりやすいですね」と話してくれる方が増えた。誰が見てもわかりやすくなった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>令和3年12月</p>
<p>片平児童館</p> <p>※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>利用者より、児童館入口へ向かう歩道を自転車も走行しているため、歩いている子どもとぶつかりそうになったと言う話があった。そのため、自転車が歩道に入らないように柵を設け、車道を通るよう表示を設置した。また、片平公園への入口も兼ねていることから、青葉区役所公園課にも連絡し、表示を設置してもらった。</p>	<p>自転車は車道を走行するようになり、歩行者とぶつかりそうになったという話は聞かなくなった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>令和3年9月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
貝ヶ森児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	乳児の利用が増え、双子の赤ちゃんのご利用もあったため、親子室のベビーベッドを一台増設して2台にした。(市民センター2階ロビーにあったベビーベッドを借用)	利用者から、「ベッドを増やしてもらって、助かります。」の声をいただき、使用頻度も多く、乳幼児親子に喜んでもらえた。	令和3年5月
貝ヶ森児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	親子室から幼児が一人で飛び出すのを防止するため、また、常時親子室の引き戸を解放して換気し、新型コロナウイルス感染防止のため、親子室と廊下間に、取り外し可能な柵(ふわふわ通せんぼ)を設置した。	保護者の心配がなくなった。引き戸の開け閉めがなくなったため、怪我の防止になり、常に換気できていたため、利用者に安心して頂いた。	令和3年11月
台原児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	乳幼児親子さんからボール遊びをしたいとの希望をいただいた。 それまでは利用者が多いときの衝突や事故の配慮して、ボールの提供はしていなかったが、館庭専用と遊戯室専用キャンディボールを用意した。保護者の方へ事故防止のための見守りの声掛けをし、利用者が多い場合は、遊戯室にほかの遊びと混在しないようにパーテーションを設置して対応する。	ボール遊びがお気に入りなのだが、安全に遊べる場所がなくて困っていたので、すぐに対応してもらい有難かった、とのことだった。	令和3年10月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
木町通児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	児童館だよりを掲示している館外の掲示板に行事の募集を呼びかけるポスターやチラシを掲示した。	日頃から掲示板の前で立ち止まり、おたよりを見ている乳幼児親子の姿が見られた。行事ごとのポスターやチラシにすることで、さらに参加者の目に留まる効果があり、申し込みがふえた。	令和3年11月
木町通児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	小学生対象などのチラシを、児童クラブの迎えの保護者の目に止まりやすい場所にチラシコーナーを設置した。	迎えに来た保護者が子どもを持つ間、チラシを眺めて過ごし、チラシをきっかけにして親子や職員との会話がうまれた。	令和4年1月
栗生児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	地域の集会所をお借りしてサテライトを利用しており、集会所の長机・椅子がそのまま積まれている状況にある。地震や何かの拍子に倒れてきたら大変危険である。当初はロープを張って立ち入り禁止にしていた。視覚的にはっきり分かるように対策を講じた。	ロープだとたるみがちになるので、コーンバーを利用し明確にした。完全ではないが、意識づけになっている。 	令和3年6月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>愛子児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>乳幼児が遊戯室から館庭に転落しないよう柵を購入し設置している。</p>	<p>乳幼児が誤って館庭に転落することがなくなり、安全が確保されている。</p>	<p>令和3年4月</p>
<p>愛子児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>男子用小便器に温度を感知して絵が浮かび上がる的シールを準備して貼り付けている。</p>	<p>用を足す際に便器に近づいて用を足す児童が多くなり、尿が飛び散るケースが以前よりも減ってきている。</p>	<p>令和3年7月</p>
<p>岡田児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>児童館駐車場利用に関し、車両の駐車方向や隣車との間隔が分かりづらかったので、駐車の見安となるラインを引いた。</p>	<p>児童クラブ保護者のみならず、駐車場を利用するすべての人たちに、さらに利用しやすくなったとの感想が得られた。</p>	<p>令和4年3月</p>
<p>七郷児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>写真掲示のみだった活動紹介をリニューアルし、受付にデジタルフォトフレームを設置。児童館事業の紹介や活動の様子、職員紹介、児童クラブ説明会のスライドなどを音楽や音声付きの写真や動画で見られるようにした。</p>	<p>児童館のことや児童館活動、職員の人柄等が大変わかりやすいと好評で、児童館活動の理解が深まり、児童館職員に親しみやすさを感じていただけるようになった。 児童クラブ説明会のスライドは、当日欠席した方も後日迎えの際に見ることができ、保護者に好評だった。</p>	<p>令和4年3月</p>
<p>南材木町児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>幼児が靴を脱ぎ履きしやすいように、椅子を用意した。</p>	<p>キャラクターが描いてあるので子どもたちも喜んで座り、保護者からも「安全に履くことができる。」と好評だった。</p>	<p>令和3年9月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
茂庭台児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	夜間のお迎え時、引き渡すドアの上にセンサーライトをつけて、その都度明るくなるようにした。安全にお渡しできるようした。	・足元が明るくなったことにより、安全面が向上した。 ・保護者との情報交換の場としても、明るい場所となった。 ・夜間の入口がわかりやすくなった。 <div style="text-align: right;">  </div>	令和4年2月
八木山児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	【防犯対策の向上】 児童福祉施設への不審者侵入傷害事件を受けて単独児童館でも対応可能な整備をした。玄関の自動ドアには手をつける訳にはいかないので、玄関内側の扉に新たに鍵を取り付け、6時以降は施錠をすることにした。	特に秋期から冬期にかけての日没が早い時期には、自動ドアが開いて玄関内に人が入ってくるまで人影を確認しにくい状況があったが、市民サービスの上から自動ドアのスイッチを切るわけにもいかず、外が暗い時間帯の防犯対策上に課題があった。しかし、内戸を施錠することができるようになり、利用者の利便性を損なわずに安心して利用できる施設となった。	令和3年11月
八木山児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	【来館時の利便性の向上】 玄関自動ドアの内側にチャイムを設置して来館を知らせられるようにしてあるが、加えて自動ドアが開かない時でも来館を知らせられるように、玄関外にもチャイムのスイッチを取付けた。	防犯上や悪天候による被害を防ぐために自動ドアのスイッチを切っておくこと場合でも、来館者が容易に来館を知らせることができるようになり、利用者にとっても、施設側にとっても利便性が増した。	令和4年1月
黒松児童館 ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	コロナ禍でなかなかお母さん同士の交流ができない為、0歳児親子向けの行事を増やした。	畳の上でゆっくりのんびりお母さん同士お話できると、喜んで頂いている。	令和3年4月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

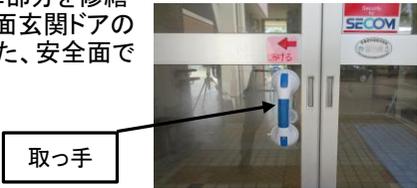
【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>将監児童館</p> <p>※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>土曜日の自由来館の方々に安全に遊戯室を使用していただくため、使用割り当て時間を掲示した。</p>	<p>遊戯室の利用時間がわかり、どの年代もスムーズな遊戯室利用につながった。</p>	<p>令和3年12月</p>
<p>南光台東児童センター</p> <p>※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>アンケートで、迎えに行った際職員が見当たらずしばらく待ったとの回答があったため、事務室内の配置を替え見通し良くするとともに、玄関にベルを設置した。</p>	<p>・見通しが良くなり、声をかけやすくなったとの感想をいただいた。職員も来館者の様子が見えるようになり、安全面が強化された。 ・事務室に職員がいない時にもベルを鳴らしていただくことで素早く対応できるようになった。</p>	<p>令和4年3月</p>
<p>鶴が丘児童センター</p> <p>※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>授乳室がなかったため、平日の午前中は静養室を授乳と乳児専用の部屋として使用できるようにした。 また、夏休み中は乳幼児専用の部屋として開放した。</p>	<p>落ち着いて授乳できるようになり、また乳児が安心して利用できるとの評価を得ている。 夏休み中も小学生と住み分けできたことで、安全に乳幼児が遊ぶことができた。</p>	<p>令和3年7月</p>
<p>鶴が丘児童センター</p> <p>※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>毎年駐車場が少ないとの要望が寄せられていた。駐車場に区画ラインを引き効率よく止められるようにするとともに、館庭への誘導ラインを引き、平日午前中乳幼児親子が利用できる駐車スペースを確保した。 分かりやすいように案内板も掲示した。</p>	<p>駐車スペースが増えたため、雨天時も利用しやすくなり、乳幼児親子の利用が増加した。案内により、迷うことなく駐車場が利用されている。</p>	<p>令和4年3月</p>
<p>鶴が丘児童センター</p> <p>※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営</p>	<p>建替えた住居に若い世代が転入していることから、地域のことや育児の不安など児童センターに気軽に相談できることを児童センター便りで周知した。</p>	<p>転入してきた幼児を持つ保護者の方から、児童センター便りを見て問い合わせがあり、その後も利用いただいている。孤立することなく地域の方とのコミュニケーションをとることができた。</p>	<p>令和4年3月</p>

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
長命ヶ丘児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	玄関昇降口に幼児用椅子を配置した。	乳幼児、保護者一般の方々の靴の着脱などに利用され、動作の軽減が図られている。	令和3年4月
長命ヶ丘児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	バス通りに面した掲示板を、道路の反対側からも気が付いてもらえるように、大きな物に変えた。	バスの乗降時や歩道を通る際に、子ども達や一般の方々が、立ち止まりポスターやセンターだよりを読んでいる姿が以前より多くなった。	令和3年5月
長命ヶ丘児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	・乳幼児や児童がすぐに遊べるよう、用品の消毒管理を迅速にするための器具を導入した。(製品名ウイルスバスター、ジョイキング)	トランプや各種カード、オセロや碁石等細かいもの、図書等、それらに関する消毒作業の迅速化と軽減化により、各用品遊具を利用希望時に以前より早く提供可能となった。	令和4年1月
寺岡児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	正面玄関を開閉する手をかける部分がとても小さく、開閉をする際は、小学生でも開けることが難しく、力を入れて開閉をしていた。勢い余って指を挟む恐れがあったため、ホームセンターで吸盤付のドア取っ手を購入し設置した。また、ドアの滑車部分を修繕していただき、スムーズに開閉を行うことができるようになった。	ドア取っ手を付けたことや滑車部分を修繕したことにより、スムーズに正面玄関ドアの開閉ができるようになった。また、安全面でもケガ防止にもつながった。	令和4年2月



接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
虹の丘児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	熱中症予防に関するボードを作成し、ホールに掲示した。熱中症計で測定した暑さ指数によってどんな行動をしたらよいかを簡潔に示した。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がこのボードを見て、現在の危険度、注意事項、できる遊びなどを確認して遊ぶようになった。 ・すべての職員が同じように対応できるようになった。 	令和3年6月
松陵児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	玄関の掲示板に貼ってある掲示物が色あせていたり、古くなっていたりしたので、児童クラブ児童が、毎月の壁飾りを作ることにした。	・センターの利用時間、約束などがはっきりとした文字で書いてあり分かりやすくなったこと、また、小学生が作った季節に合わせた掲示物が飾られていることについて評価を得ている。	令和3年5月
松陵児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	センターが取り組んでいる事業内容等を、利用者に幅広く伝えることができるように、行事ごとに写真をシートにまとめ、通路に掲示した。また、児童クラブの写真も季節に合わせて掲示した。	・利用者から、いつ、どんなことに取り組んでいるのかがよく分かるし、行事に興味をわき、参加意欲をかきたてると評価を得ている。	令和3年10月
北中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	駐車場の形が複雑で、死角があって危ないという声があったため、コーナー部分にカーブミラーを設置した。	通路の死角が解消し、安全に出入りできる、と好評である。 	令和3年5月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
北中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	乳幼児親子の利用が増加し、外遊びが大人気であるが、暑い日が続く中、快適に遊べるよう砂場にテントを設営したり、ミストタイムを行った。	乳幼児親子だけでなく、妊婦親子も毎日のように利用し、日陰で子どもの遊びを見守ることができると喜んでいただいている。暑い日も着替えを持参し、ミストタイムを楽しみに来館している。	令和3年7月
北中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	老朽化に伴い、「駐輪場」「すなば」「駐車場入り口」「センターだより掲示板」の看板をリニューアルし、北側駐車場には、「正面玄関⇒」という看板を新設した。	自転車で来館する小・中学生の自由来館者から、見やすい、との感想をいただいた。また、北側駐車場に駐車した利用者より「玄関入口」の看板があり、わかりやすいと好評を得ている。 	令和3年7月
北中山児童センター ※(公財)仙台ひと・まち交流財団が運営	児童クラブ保護者から、館内の掲示物について見えにくいとの指摘があった。コロナ関連のもの・乳幼児コーナー・児童クラブ保護者向けの案内等、見やすい場所へ整理した。	コロナウイルス感染症対拡大防止のため、保護者は児童クラブの迎え時に館内に入らず玄関で待っていただいている。その際、児童クラブ保護者が、コロナ関連の掲示物を読みながら子どもを待つ姿や、作品募集のポスター等を見ながら親子の会話が弾む様子が見られる。 	令和3年8月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
鹿野児童館 ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	利用者が、興味・関心を持つようなものを玄関先または玄関内に掲示または提示(設置・展示)することにより、それを楽しみに来館できるようにした。 具体的には、玄関先にリュウキンカ、スイレン入りの水瓶(金魚入り)、国蝶のオオムラサキの幼虫とその餌となるエノキの鉢植え、トウホクサンショウウオの卵の入った水槽、目を引く紫水晶等の鉱石各種などのコーナーをつくった。※別添え資料あり	乳幼児親子を始め、児童クラブ児童・保護者が、毎日楽しみに来館するようになり、それを介して多くの会話・コミュニケーションも増えて児童館及び職員との距離感も近くなった。何か温かい雰囲気も生まれている。	令和3年度4月から
鹿野児童館 ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	授乳場所として安心して使用できるようカーテン式のパーティションを設置した。	使用したい時にいつでも簡単に仕切りをつくることができるので、安心して授乳できるとの声をいただいている。	令和4年3月から
原町児童館 (のびすく宮城野) ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	感染予防防止の観点から、大人の入館を玄関までと制限しているため、玄関、風除室に児童クラブの日常の様子やお便り等情報コーナーを設置した。 利用に制限があるため館内の情報コーナー(のびすく関係情報)を簡易的に風除室に設けた。	入館できない保護者が送迎の際に子どもたちの活動の様子や児童クラブの情報等を見ることができ活動の周知度が上がった。 館内利用者以外(予約なしの方)でも情報が収集し易くなった。	令和3年5月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	感染予防防止対策のため、対面で行う行事(将棋)などの際、下の部分が開いたアクリル板を用意し使用するようになった。	将棋を教えに来館する地域ボランティアや児童双方の感染対策に配慮した形となり高齢のボランティアには好意的に受け止めてもらえている。	令和3年4月

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
原町児童館 (のびすく宮城野) ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	のびすくの「ひろば」利用が予約制のため、外部からその日のひろばの空き情報(有無)が分かるように玄関前に掲示するようにした。	当日、利用可能かどうかの問合せや予約制を知らずに来館した方など、掲示を見ることで利用可能か否かが分かり易くなったため、問合せが少なくなった。	令和3年6月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	児童館で活動している「子育て支援クラブ」から、乳幼児用「カニさん抗菌砂場」を購入いただき、個別で利用できるようにした。	乳幼児保護者から、コロナ禍で公園に出かけることが無くなっている中で、安心して遊べると喜ばれている。	令和3年4月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	三密対策のため、複合館の施設環境を利用し、外の芝生や広場を利用して行事を開催している。	館外(屋外)を利用し行事を実施することで(感染予防対策実施のうえ)、広いスペースで三密回避もできるため、利用者や参加者が安心して参加でき楽しんでもらえるようになった。	令和3年4月
原町児童館 (のびすく宮城野) ※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営	児童の活動の様子がよくわからないという保護者の声に応え、カメラに収めた日常の様子をスライドショーでお迎えを待つ間に観れるようにした。	多くの保護者が熱心にスライドショーをご覧になり、その様子について子どもと楽しそうに語らうなど家庭の団らんの話題になっていると好評である。	令和3年より工夫しながら通年実施中

接遇等市民サービスの改善の成果の事例

【子供未来局】

施設名	改善項目	改善の成果	実施時期
<p>原町児童館 (のびすく宮城野)</p> <p>※(特非)MIYAGI子どもネットワークが運営</p>	<p>通り沿いにある駐車場前の雑草が茫々としていたところを整備し、子ども達が石ころに色を塗って作成した石ころアートを設置。また、四季折々の花を植えてフラワーロードにした。特に秋にはチューリップの球根を隣接する保育園の子ども達も交えて植えて「1000球のチューリップを植えて春を楽しみにしよう」というイベントを実施継続中</p>	<p>地域の方々から綺麗だねとよく褒めて頂くようになった。草花の苗をいっただいて花を増やすこともできた。一斉に咲き誇るチューリップを背景に記念撮影をする姿を多く目にするようになった。</p>	<p>令和2年より整備し、年々充実してきている。</p>
<p>榴岡児童館</p> <p>※(特非)せんだい杜の子ども劇場が運営</p>	<p>新しい職員が増えたこともあり、職員が接遇者と利用者に分かれ、実際に接遇体験をし、より良い接遇の仕方を学ぶようにしている。</p>	<p>職員の能力向上と職員間の意識の共有が出来るようになった。</p>	<p>令和3年5月</p>
<p>国見児童館</p> <p>※(特非)ワーカーズコープが運営</p>	<p>正門前の歩道の点字ブロックやパネル型コンクリートが経年劣化と地震の影響で欠損多々。施設利用者や近隣住民の転倒防止、危険を回避することを考慮し、仙台市道路課へ修理を依頼。</p>	<p>ひっかかりが減り、平坦な道路になり、安全に歩行できるようになった。利用者の中にはベビーカーを利用する方も多く、走行がスムーズになった。</p>	<p>令和3年8月</p>